

Cisco Expressway および Cisco TelePresence Video Communication Server リリース ノート (X14.0.9)

初版 : 2022 年 9 月 14 日

このマニュアルについて

このドキュメントでは、以下のトピックを扱います。

- [変更履歴](#)
- [サポートされるプラットフォーム](#)
- [相互運用性および互換性](#)
- [X14.0.9 の機能のサマリー](#)
- [削除または廃止された機能とソフトウェア](#)
- [レイ・バウム法に対するサポートなし](#)
- [関連資料](#)
- [X14.0.9 の機能と変更点](#)
- [制限事項](#)
- [未解決および解決済みの問題](#)
- [バグ検索ツールの使用](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)

変更履歴

Table 1: 変更履歴

日付	変更内容	理由
2022 年 9 月	X14.0.9 用の初版	X14.0.9 リリース
2022 年 8 月	再発行済み X14.2	X14.2 リリース 置き換えられたバグ識別子

日付	変更内容	理由
2022年8月	X14.2用の初版	X14.2リリース
2022年7月	X14.0.8用の初版	X14.0.8リリース
2022年5月	X14.0.7用の初版	X14.0.7リリース
2022年3月	X14.0.6用の初版	X14.0.6リリース
2022年2月	X14.0.5用の初版	X14.0.5リリース
2021年12月	X14.0.4用の初版	X14.0.4リリース
2021年8月	X14.0.3用の初版。	X14.0.3リリース
2021年8月	「このリリースのその他の変更」セクションに「 <u>トラフィックサーバーが証明書の検証を強制する</u> 」に関する新しい項目を追加しました。	X14.0.2リリース：再発行
2021年7月	X14.0.2用の初版。	X14.0.2リリース
2021年6月	X14.0.1用の初版。	X14.0.1リリース
2021年5月	「MRAに関する制限事項」セクションに制限事項を追加。	X14.0リリース：再発行
2021年4月	X14.0用の初版。	X14.0リリース
2020年12月	X12.7用の初版。	X12.7リリース
2020年8月	メンテナンスリリースの更新。	X12.6.2リリース
2020年7月	ソフトウェアのダウングレード（サポート対象外）に関する問題について誤解を招くセクションを削除しました。	ドキュメントの訂正
2020年7月	メンテナンスリリースの更新。OAuth トークン認証のエンドポイント要件も明確化。	X12.6.1リリース
2020年6月	X12.6用の初版。	X12.6リリース

サポートされるプラットフォーム

表 2: このリリースでサポートされている **Expressway** プラットフォーム

プラットフォーム名	シリアル番号	ソフトウェアバージョンのサポート範囲
小規模 VM (OVA)	(自動生成)	X8.1 以降
中規模 VM (OVA)	(自動生成)	X8.1 以降
大規模 VM (OVA)	(自動生成)	X8.1 以降
CE1200 Hardware Revision 2 (UCS C220 M5L にプレイン ストール)	52E1#####	X12.5.5 以降。
CE1200 Hardware Revision 1 (UCS C220 M5L にプレイン ストール)	52E0#####	X8.11.1 以降。
CE1100 (UCS C220 M4L にプ レインストールされた Expressway)	52D#####	メンテナンスとバグ修正のみ を目的とする X12.6.x バージョ ンでの限定的なサポートを除 き、サポートされていません (X12.5.x 以降)。脆弱性/セ キュリティのサポートは、 2023 年 11 月 30 日まで延長さ れます。
CE1000 (UCS C220 M3L にプ レインストールされた Expressway)	52B#####	サポート対象外 (X8.10. x 以 降)
CE500 (UCS C220 M3L にプレ インストールされた Expressway)	52C#####	サポート対象外 (X8.10. x 以 降)

VMware 7.0 U2 での OVA の展開



Note これは、現在のリリースにおける既知の問題です。X14.2 OVA を展開すると、vCenter 7.0 U2 バージョンの VMware では“無効な証明書”が表示されますが、古いバージョンでは“信頼できる証明書”が表示されます。この問題の詳細については、[ナレッジ記事](#)を参照してください。

VCS 製品サポート

シスコは、Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) 製品の販売終了日およびサポート終了日を発表しました。詳細は、以下の[リンク](#)で確認できます。

このソフトウェア リリースで解決された問題は、Cisco Expressway および Cisco TelePresence Video Communication Server のユーザが対象となりますが、このリリースで追加された新機能は Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) 製品ではサポートされません。

この通知は、Cisco Expressway シリーズ製品には影響しません。

CE1200、CE1100、CE1000、および CE500 アプライアンスのハードウェアサポート

このセクションは、ハードウェア サポート サービスのみに適用されます。

CE1200 アプライアンス



重要 Expressway CE1200 で使用されるコンポーネントの供給の問題により、注文処理が遅れています。供給の問題を考慮して、脆弱性/セキュリティのサポートの終了は 2023 年 11 月 30 日まで延長されます。

ユーザーインターフェイスに表示される、「サポートされていないハードウェア」の警告は無視してください。

CE1100 アプライアンス：サポート終了およびハードウェアサービスサポート撤回の事前通知

新しい Expressway アプライアンスのタイムリーな供給に影響を及ぼしているコンポーネント不足に関する発生中の問題を考慮して、Cisco Expressway CE1100 アプライアンスをまだ使用しているお客様をサポートするために、シスコは脆弱性/セキュリティサポートの終了を 2021 年 11 月 14 日（当初の[サポート終了のお知らせ](#)）から、有効なサービス契約を結んでいるお客様のサポートの最終日に合わせて、2023 年 11 月 30 日に延長することを決定しました。



(注) お客様はこのリリースのソフトウェアを Expressway CE1100 で実行し、セキュリティの改善/脆弱性の修正の恩恵を受けることができますが、多くの新機能はより新しくより強力なハードウェアを必要とするため、このリリースの Expressway ソフトウェアで追加された新機能の CE1100 プラットフォームでの使用はサポートされません。

CE500 および CE1000 アプライアンス：販売終了のお知らせ

Cisco Expressway CE500 および CE1000 アプライアンスのハードウェア プラットフォームは、シスコによるサポートが終了しています。詳細については、[販売終了のお知らせ](#)を参照してください。

相互運用性および互換性

製品の互換性情報

詳細マトリックス

Cisco Expressway は標準ベースであり、シスコ製とサードパーティ製の両方の標準ベース SIP 機器および H.323 機器と相互運用できます。特定のデバイスの相互運用性に関する質問については、シスコの担当者にお問い合わせください。

モバイル & リモートアクセス (MRA)

特に MRA に関して互換性のある製品については、『[Cisco Expressway 経由での Mobile and Remote Access 導入ガイド](#)』の、エンドポイントおよびインフラストラクチャ製品のバージョン表に記載しています。

MRA の場合、最新の特長と機能にアクセスするには、Expressway を最新バージョンの UCM と組み合わせて展開することをお勧めします。ただし、Expressway には、以前の UCM リリースとの下位互換性もあります。

同時に実行できる Expressway サービス

『[Cisco Expressway 管理者ガイド](#)』で、どの Expressway サービスが同じ Expressway システムまたはクラスタで共存できるかについて詳細に説明しています。「概要」の章にある「同時にホストできるサービス」の表を参照してください。たとえば、MRA が CMR Cloud と共存できるかどうかを知る必要がある場合（これは可能）、表によってわかります。

X14.0.9 の機能のサマリー

Table 3: リリース番号別の機能

機能/変更	ステータス
CDB API アクセスの有効化または無効化	X14.2 から対応
TLS 検証モード	X14.2 から対応
/tmp/ パスでファイルをアップロードする	X14.2 から対応
スマートライセンスフェーズ II	X14.2 から対応
MRA over IPv6	X14.2 から対応
XCP ルーティング情報	X14.2 から対応
承認済み暗号化プリミティブとパラメータ	X14.2 から対応

機能/変更	ステータス
TrafficServer の DOS 保護を有効にする	X14.2 から対応
電子メール通知を削減	X14.2 から対応
xCommand FIPS を使用する別の方法	X14.2 から対応
RedSky E911 ロケーションサービス	X14.0.4 から対応
サービス選択ウィザード	X14.0.3 から対応
IP アドレスを禁止/禁止解除	X14.0.3 から対応
IP アドレスを免除	X14.0.3 から対応
コール詳細レコード (CDR) 構成	X14.0.3 から対応
複数の管理者アカウントとグループに CLI でアクセスできます。	X14.0.1 からサポート対象
新しい RAML RESTA PI で SNMP の詳細を設定する機能。	X14.0.1 からサポート対象
コマンドインターフェイスを使用してアラームを表示および確認する機能	X14.0.1 からサポート対象
SSO/OAuth サインインでの URI リダイレクトのサポート	X14.0 以降でサポート
AV1 のサポート	X14.0 以降でサポート
“Jabber のゼロ ダウンタイム”での XCP サポート	X14.0 以降でサポート
P2P からミーティングへのエスカレーション	X14.0 以降でサポート
Expressway クラスターのロードバランシングは SIP フェデレーションには適用されない	X14.0 以降でサポート
Cisco Jabber の MRA SIP 登録フェールオーバー	X14.0 以降でサポート
MRA モバイルアプリケーション管理クライアント	プレビュー
IM&P 用の Android プッシュ通知パブリッシャー	プレビュー (X12.6.2 からはデフォルトで無効)
Cisco Contact Center のヘッドセット機能	プレビュー

削除または廃止された機能とソフトウェア

Expressway 製品セットは見直しが続けられており、機能が製品から削除されることや、以降のリリースで機能のサポートが終了することを意味する廃止となることがあります。この表は、現在廃止ステータスである機能、または X12.5 以降で削除された機能の一覧です。

Table 4: 廃止および取り消された機能

機能/ソフトウェア	ステータス
ハードウェア セキュリティ モジュール (HSM) のサポート	X14.2 から廃止
Microsoft Internet Explorer ブラウザのサポート	X14.0.2 で非推奨
VMware ESXi 6.0 (VM ベースの展開)	非推奨メソッド
Cisco Jabber Video for TelePresence (Movi) Note TelePresence 版 Cisco Jabber Video (ビデオ コミュニケーションで Cisco Expressway と連携して動作) に関連するものであり、Unified CM と連携して動作する Cisco Jabber ソフトウェア クライアントには該当しません。	非推奨メソッド
FindMe デバイス/ロケーション プロビジョニング サービス : Cisco TelePresence FindMe/Cisco TelePresence Management Suite プロビジョニング 拡張機能 (Cisco TMSPE)	非推奨メソッド
Expressway Starter Pack	非推奨メソッド
Smart Call Home のプレビュー機能	X12.6.2 で取り消し済み
Expressway 組み込み転送プロキシ	X12.6.2 で削除
Cisco Advanced Media Gateway	X12.6 で取り消し済み
VMware ESXi 5.x (VM ベースの展開)	X12.5 で削除

レイ・バウム法に対するサポートなし

Expressway は MLTS (マルチライン電話システム) ではありません。レイ・バウム法の要件を順守する必要があるお客様は、Cisco Unified Communications Manager を Cisco Emergency Responder と共に使用する必要があります。

関連資料

表 5: 関連ドキュメントとビデオへのリンク

サポート ビデオ	Cisco TAC エンジニアが提供する、Expressway の一般的な構成手順に関するビデオは、 Expressway/VCS スクリーンキャスト ビデオ リスト ページで利用できます（「Expressway videos」で検索）。
仮想マシンのインストール	Expressway インストール ガイド ページの『仮想マシンでの Cisco Expressway インストレーション ガイド』
物理アプライアンスのインストール	Expressway インストール ガイド ページの『Cisco Expressway CE1200 アプライアンス インストール ガイド』
シングルボックスシステムの基本設定	Expressway コンフィギュレーションガイド ページの『Cisco Expressway Registrar Deployment Guide (Cisco Expressway レジストラ導入ガイド)』
ペアリングされたボックスシステムの基本設定 (ファイアウォールトラバーサル)	Expressway コンフィギュレーションガイド ページの Cisco Expressway-E および Expressway-C の『基本設定導入ガイド』
管理およびメンテナンス	Expressway メンテナンスとオペレーション ガイド ページの『Cisco Expressway 管理者ガイド』 http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/expressway-series/products-maintenance-guides-list.html (有用性情報を含む)
クラスタ	Expressway コンフィギュレーションガイド ページの『Cisco Expressway クラスタの作成とメンテナンス導入ガイド』
証明書	Expressway コンフィギュレーションガイド ページの『Cisco Expressway 証明書の作成と使用に関する導入ガイド』
ポート	Expressway コンフィギュレーションガイド ページの『Cisco Expressway IP Port Usage Configuration Guide (Cisco Expressway IP ポートの使用コンフィギュレーション ガイド)』
モバイル & リモートアクセス	Expressway コンフィギュレーションガイド ページの『Cisco Expressway 経由の Mobile and Remote Access 導入ガイド』

Cisco Meeting Server	<p>Expressway コンフィギュレーション ガイド ページの『Cisco Meeting Server with Cisco Expressway Deployment Guide (Cisco Expressway による Cisco Meeting Server 導入ガイド)』</p> <p>Cisco Meeting Server プログラミング ガイド ページの『Cisco Meeting Server API Reference Guide (Cisco Meeting Server API リファレンス ガイド)』</p> <p>Cisco Meeting Server のその他のガイドは、Cisco Meeting Server コンフィギュレーション ガイド ページに用意されています。</p>
Cisco Webex ハイブリッドサービス	ハイブリッドサービス ナレッジ ベース
Cisco Hosted Collaboration Solution (HCS)	HCS のお客様用マニュアル
Microsoft インフラストラクチャ	<p>Expressway コンフィギュレーション ガイド ページの『Cisco Expressway with Microsoft Infrastructure Deployment Guide (Microsoft インフラストラクチャを使用した Cisco Expressway 導入ガイド)』</p> <p>Expressway コンフィギュレーション ガイド ページの Cisco Jabber およびビジネス版 Microsoft Skype のインフラストラクチャ構成チャートシート</p>
REST API	Expressway コンフィギュレーション ガイド ページの『Cisco Expressway REST API Summary Guide (Cisco Expressway REST API サマリー ガイド)』 (API は自己記述されているため概要レベルの情報のみ)
MultiWay 会議	Expressway コンフィギュレーション ガイド ページの『Cisco TelePresence Multiway Deployment Guide (Cisco TelePresence Multiway 導入ガイド)』

X14.0.9 の機能と変更点

シスコでは、Expressway の新機能をできるだけ速やかに提供することを目指しています。まだ利用できない他のシスコ製品の更新が必要な場合があるため、新機能が公式にサポートされない場合があります。

このリリースでは、新しい機能拡張や変更はありません。

プレビュー機能

このリリースの一部の機能は、既知の制限や不完全なソフトウェア依存関係があるため、「プレビュー」ステータスのみで提供されます。Cisco は、通知なしでいつでもプレビュー機能を無効にする権利を有します。

実稼働環境では、プレビュー機能に依存しないでください。Cisco テクニカルサポートでは、プレビュー機能を使用するお客様に、限定的なサポート（シビラティ（重大度）4）を提供します。

(プレビュー) ハードウェア セキュリティ モジュール (HSM) のサポート : X14.2 リリース以降廃止

Expressway X12.6 リリースでは、プレビュー機能として HSM 機能が追加されています（HSM は、強力な認証のためにデジタル キーを保護および管理し、アプリケーション、ID、およびデータベースで使用する暗号化、暗号解読、および認証などの重要な機能に対して crypto プロセスを提供します）。

メンテナンス > セキュリティ > **HSM 構成** ページは、このバージョンの Expressway ソフトウェアの Expressway ユーザーインターフェイスに引き続き表示されますが、この機能は廃止され、将来のソフトウェアリリースでユーザーインターフェイスから削除されます。

(プレビュー) Cisco Contact Center のヘッドセット機能 : MRA 展開

この機能は、Mobile and Remote Access を使用して Expressway を展開する場合に該当します。これは現在プレビュー ステータスで提供されています。

新しいデモンストレーション ソフトウェアにより、互換性のあるシスコ ヘッドセットに一部の Cisco Contact Center 機能が提供されるようになりました。X12.6 からは、関連するエンドポイント、ヘッドセット、または Unified CM で必要なソフトウェア バージョンが実行されている場合は、Expressway が自動でこれらのヘッドセットの新機能をサポートします。この機能は Unified CM インターフェイスから有効になっており、Expressway でのユーザによる設定は必要ありません。

詳細は、ホワイト ペーパー『[Cisco Headset and Finesse Integration for Contact Center](#) (Contact Center 向けの Cisco ヘッドセットと Finesse の統合)』に記載されています。

(プレビュー) モバイル アプリケーション管理クライアントを使用したプッシュ通知 : MRA 展開

この機能は、Mobile and Remote Access を使用して Expressway を展開する場合に該当します。これは現在プレビュー ステータスで提供されています。

この機能を使用すると、Jabber Intune や Jabber BlackBerry などのモバイル アプリケーション管理 (MAM) クライアントが、Mobile and Remote Access を介したプッシュ通知のサポート対象になります。その結果、Jabber Intune クライアントや Jabber BlackBerry クライアントを実行しているすべてのデバイスでプッシュ通知サービスを利用できます。

(プレビュー) Android デバイスでのプッシュ通知 : MRA 展開

この機能は、MRA を使用して Expressway を展開する場合に適用されます。X12.6 では、外部の製品バージョンの依存関係により、プレビュー ステータスのみで導入されました。

X12.6.2 では、既知の問題（バグ ID [CSCvv12541](#) 参照）により、この機能はデフォルトでオフに切り替えられました。

X12.7 で、バグ ID [CSCvv12541](#) は修正されました。ただし、この機能はソフトウェアの依存関係が保留中のため、プレビュー ステータスのままです。

Android デバイスのプッシュ通知を有効にする方法

この機能は、Expressway コマンドラインインターフェイスを介して有効化されます。この操作は、**Android ユーザにサービスを提供する IM and Presence Service のすべてのノードでサポート対象のリリースを実行している場合にのみ**実行します。

CLI コマンド : `xConfiguration XCP Config FcmService: On`



- (注) このコマンドを使用すると、MRA を介して現在サインインしているユーザの IM and Presence サービスが中断されます。このため、これらのユーザは再度サインインする必要があります。

(プレビュー) 互換性のある電話機の KEM サポート : MRA 展開

Cisco IP 電話 8800 シリーズのデバイス用のキー拡張モジュール (KEM) アクセサリ向けに、MRA を正式にはテストおよび検証していません。ただし、私たちは実験条件の下で、複数の DN を持つ KEM が MRA で満足できる程度に動作していることを確認しています。これらは公式なテストでは**ありません**が、COVID-19 危機管理の観点では、この情報は、サポートされていないプレビュー機能を使用することを希望するお客様にとって有用となっています。

SIP パスヘッダーは、Expressway で有効にする必要があります。また、パスヘッダーをサポートする Unified CM ソフトウェアバージョンが必要です (リリース 11.5 (1) SU4 またはそれ以降を推奨)。

REST API への変更点

リモート構成を効率化するために、Expressway 用の REST API を利用できます。たとえば、Cisco Prime Collaboration Provisioning などのサードパーティのシステムなどがあります。新機能の追加にあたって、REST API から構成、コマンド、およびステータス情報にアクセスする手段を追加していますが、同時に、以前の Expressway のバージョンで導入された一部の機能に REST API を選択的に改良しています。

API は、RAML を使用して自己記述されており、<https://<ipaddress>/api/raml> で RAML の定義にアクセスできます。

表 6: REST API のリスト

構成 API	API が導入されたバージョン
CDB REST API アクセス : CDB REST API アクセスの有効化/無効化	X14.2
サービス選択ウィザード	X14.0.3
アクティブアラームを確認する機能	X14.0.3
IP アドレスを禁止/禁止解除	X14.0.3

構成 API	API が導入されたバージョン
IP アドレスを免除	X14.0.3
コール詳細レコード (CDR) 構成	X14.0.3
ステータス : fail2banbannedaddress	X14.0.2
SNMP 構成	X14.0.1
アラーム : 表示および確認	X14.0.1
専用管理インターフェイス (DMI)	X12.7
Diagnostic Logging	X12.6.3
スマートライセンス	X 12.6
クラスタ	X8.11
Smart Call Home	X8.11
Microsoft 製品との相互運用性	X8.11
B2BUA TURN サーバ	X8.10
admin アカウント	X8.10
ファイアウォールルール	X8.10
SIP 設定	X8.10
サーバ名の識別用のドメイン証明書	X8.10
MRA 拡張機能	X8.9
ビジネスツービジネス コール	X8.9
MRA	X8.8

今回のリリースでのその他の変更点

X14.0.9 リリース

Jabber Over MRA は、内線が話し中の場合に呼び出されると、ビジーではなく断続的に呼び出し音を再生します

SIP REFER メッセージの最大遅延を指定する新しい CLI コマンドが追加されました。これには、サーバーが処理できる (ミリ秒単位で) 最初の通話ダイアログ中に DtLineBusyTone が含まれます (SIP メッセージが順番に処理されるようになります)。

Expressway は SIP メッセージを処理して送信します (REFER には DtLineBusyTone パラメータと 183 セッション中が含まれます)。これにより、Jabber Over MRA は話中音の代わりに断続的に呼び出し音を再生します (バグ ID [CSCwc27302](#) を参照)。

遅延を 100 ~ 200 ミリ秒に調整することをお勧めします。

CLI コマンドは次のとおりです。 **xConfiguration SIP Advanced BusytoneReferDelay : <0..2000>**

X14.0.7 リリース

Expressway は、受信した順序とは異なる順序で SIP メッセージを処理します

サーバーが処理できる SIP BIB 招待メッセージの最大遅延を指定する (SIP メッセージが順番に処理されるようにする) 新しい CLI コマンドが追加されました (ミリ秒単位)。

500 ~ 1000 ミリ秒で遅延を調整することをお勧めします。

CLI コマンドは次のとおりです。 **xConfiguration SIP Advanced BibInviteDelay: <1..5000>**

バックアップと復元からの ssh の削除

クライアントの ssh 公開キーとサーバーの ssh キーのペアをバックアップと復元から削除します。

ssh キーはバックアップの一部ではないため、システムを復元した後、パスワードがないと ssh が機能しない場合があります。したがって、ログインするには、クライアントキーとサーバーキーの両方を手動で追加します。

X14.0.2 リリース

CE ゾーンステータスの「アクティブ」から「アドレス解決可能」への変更

X14.0.2 以前は、ゾーンプロファイルで [ピア ステータスのモニタ]/[ネイバーモニタ] が [いいえ] に設定されている CE ゾーンのステータスが **アクティブ** であると表示されます。Expressway は CE ゾーンのピアステータスをモニタリングしていないため、より正確なステータス [**アドレス解決可能**] が示されるためです。

自動作成された UC ゾーンと関連付けられたユニファイドコミュニケーションゾーンプロファイルはカスタマイズできず、ネイバーモニタを [いいえ] に設定するのは設計によるものです。

UC ノード宛ての自動作成された CE (tcp/tls/OAuth) ゾーンは、[CSCup29823](#) の修正に従って、ステータスを [**アドレス解決可能**] と表示します。

トラフィックサーバーが証明書の検証を強制する



Important

X14.0.2 より前のリリースから X14.0.8 にアップグレードする前に、次の証明書の要件が満たされていることを確認してください。

X14.0.2 以降の Expressway のトラフィック サーバー サービスの改善により、MRA に対して以下を設定する必要があります。

要件：UCM が非セキュアモードの場合でも、認証局が提供する中間証明書を含む完全な認証局（CA）の信頼チェーンを Cisco Unified Communications Manager（UCM）の Tomcat-trust および CallManager-trust リストにアップロードします。その後で、CUCM 側で次のサービスを再起動します。

- TFTP
- Tomcat サービス
- CallManager サービス
- HA プロキシサービス（Tomcat で TLS を使用している場合）

理由：Expressway のトラフィック サーバー サービスは、サーバー（UCM）が要求するたびに証明書を送信します。これらの要求は、8443 以外のポート（たとえば、ポート 6971、6972 など）で実行されているサービスに対するものです。これにより、UCM が非セキュアモードの場合でも、証明書の検証が強制されます。

詳細については、『[Expressway 経由のモバイルおよびリモートアクセス導入ガイド](#)』を参照してください。

制限事項

一部の Expressway 機能はプレビューであるか、外部の依存関係がある

シスコでは、Expressway の新機能をできるだけ迅速に提供することを目指しています。まだ利用できない他のシスコ製品の更新が必要な場合や、既知の問題や制限が一部の機能の展開に影響するため、新機能が公式にサポートされない場合があります。ユーザーがこの機能を使用してなおメリットを享受できる場合は、リリースノートで「プレビュー」としてマークしています。プレビュー機能は使用できますが、**実稼働環境で業務に使用するのには推奨しません**（「[プレビュー機能の免責事項](#)」を参照してください）。場合によっては、この機能を使用しないことを推奨します。これは、それ以降の更新が、その他の製品に対して行われるまでです。

未解決および解決済みの問題

以下のリンクに従って、このリリースで未解決および解決済みの問題に関する最新情報をお読みください。

- [変更された日付順に並べられたすべての未解決の問題（最新のもの最初）](#)
- [X14.0.9 で解決済みの問題](#)

バグ検索ツールの使用

バグ検索ツールには、問題の説明と利用可能な解決策など、このリリースおよび以前のリリースの未解決の問題と解決済みの問題に関する情報があります。これらのリリースノートに示されている ID によって、それぞれの問題の説明に直接移動できます。

このマニュアルに記載された問題に関する情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. Web ブラウザを使用して、バグ検索ツールに移動します。 <https://tools.cisco.com/bugsearch/>
2. cisco.com のユーザ名とパスワードでログインします。
3. 検索フィールドにバグ ID を入力して、検索をクリックします。

ID がわからない場合に情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. [検索 (Search)] フィールドに製品名を入力し、[検索 (Search)] をクリックします。
2. 表示されたバグのリストで [フィルタ (Filter)] ドロップダウンリストを使用して、[キーワード (Keyword)]、[変更日 (Modified Date)]、[シビラティ (重大度) (Severity)]、[ステータス (Status)]、[テクノロジー (Technology)] のいずれかでフィルタリングを行います。

バグ検索ツールのホームページの [詳細検索 (Advanced Search)] を使用して、特定のソフトウェアバージョンで検索します。

バグ検索ツールのヘルプ ページには、バグ検索ツールの使用に関する詳細情報があります。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

電子メールまたは RSS フィードで送信される柔軟な通知アラートをカスタマイズするには、[シスコ通知サービス](#)をご利用ください。

マニュアルの入手、Cisco バグ検索ツール (BST) の使用、サービス リクエストの送信、追加情報の収集の詳細については、『[更新情報](#)』を参照してください。

新しく作成された、または改訂されたシスコのテクニカルコンテンツをお手元で直接受信するには、[更新情報の RSS フィード](#) [英語] をご購入ください。RSS フィードは無料のサービスです。

© 2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。